

議 事 録

会議名	令和4年度第2回文化財保護委員会会議		
日 時	令和5年3月30日（木）午後1時30分から	開催形態	公開
場 所	役場分庁舎1階会議室（電算会議室）		
出席者	委員：北條芳隆会長、藤井孝副会長、玉園篤敏、佐原慧、杉崎清 事務局：大川教育長、内田教育次長、高橋課長、小林主査 傍聴者1名		
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>（1）令和4年度文化財保護事業報告及び令和5年度文化財保護事業計画について</li> <li>（2）大（応）神塚古墳の保存目的のための調査について</li> <li>・協議事項</li> <li>（1）国登録有形文化財候補について</li> </ul>		
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 北條会長 大川教育長</p> <p>以後の議事進行は会長が行う。</p> <p>3. 報告事項</p> <p>事務局より報告事項1 令和4年度文化財保護事業報告について説明委員) 普及啓発事業は活発に実施されていると感じる。 委員) 埋蔵文化財包蔵地内において本各的発掘調査がなく試掘のみとなっていた。本調査をする指標はあるのか。 事務局) 試掘調査は埋蔵文化財の有無をたしかめる調査である。試掘調査で埋蔵文化財があっても全て本発掘調査するわけではない。開発で埋蔵文化財が壊される場合のみ本発掘調査となる。また近年の傾向として発掘調査費が高騰しており、事業者も発掘調査にならないような開発をしたり、本調査が必要となると事業を中止する場合もある。よって本</p>		

発掘調査にならないのはこれらの事情のためと思われる。

委員) 昨年度は 55 件の文化財保護法の届出があったようだが指導はどのようにしているのか、立会などしているのか。

事務局) 55 件の申請があったが、申請の内容をみて確実に埋蔵文化財に抵触する可能性があるものについては試掘を実施、他の申請については神奈川県基準に沿って工事中立会、慎重工事としている。立会に関しては職員が一人しかいないこともあり、重要案件は必ず立ち会うが、電柱等の場合は省略する時もある。

事務局より令和 5 年度文化財事業計画を説明。

委員) 報告の啓発事業について、参加者が増え、大河ドラマの関連などで梶原関連のものも多く、また祭りばやしの鑑賞会などが増えているのは良かった。祭りばやしの事業について令和 5 年度以降も実施し定例化などの予定はないのか。神社で歴史教育をしているが、後世に伝えることが文化財事業の柱。来年度以降も昨年度のような事業ができればいいかなと思う。

事務局) 事業計画にのせてあるのは文化財学習センター主体事業のみで、これ以外にも各公民館で実施の事業もある。祭りばやしの事業は町民センター主催で、来年度も実施をお願いし、祭りばやしさんもセンターも手ごたえを感じたようで、本年度も実施を考えているようである。その他の事業も各公民館の事業も同じように実施されると思われる。梶原の事業は一旦区切りだが、代わりに近代遺産の事業を何かできないか調整中である。

委員) 配布された梶原の冊子はホームページ等で公開されているか。

事務局) 寒河江市などでは大江広元関連の冊子を公開している。同じように公開も考えている。また小学校などへ配布できるよう調整中である。

委員) ホームページ等で関心をもつ方も多いので考えてほしい。将来的には英語等の外国語対応もホームページなどでできればしていただきたいと思う。

委員) 寒川といえば梶原、の感じで押し出してもよいと思う。梶原景時が寒川にいたことは資料にはっきり残っている上に、梶原公顕彰会なども一生懸命活動しているので、一時のブームで終わらず、甲府市の武田信玄のように、今後もアピールし、記憶にのこるようにしてほしい。

委員) 梶原だけでなく、寒川神社は武田信玄との話もある、梶原に

かぎらず、寒川には郷土研究会なのもあり、その資料もあるだろう。民間との連携や、活動を活かすことも必要だと考える。

委員) 各方面で歴史おこしの町にしていなければよいかと思う。

事務局より報告事項2 令和4年度大(応)神塚古墳調査について説明(以下表記は「大神塚」)

委員) 前方部について墓地としたことは残念だった。他の部分については子供が遊んだり、祖父が桜を植えて大切にしていた。西側部分の空地については手を付けないことにした。また北側も墓地にしてしまった。しかし、多くの人が大神塚に親しんでいることを感じる、今後も大事に守っていききたい。

事務局) 北側については試掘調査を実施しているので、遺跡が無かったので墓地となっているはずである。

委員) 来年度は前方部西側を調査予定ということだが、墳丘全体については来年度調査で区切りということによろしいか。

事務局) その予定であるが、調査指導者などから他の部分の調査が必要との意見ができれば県とも調整し調査を続けることもあるだろう。

委員) 承知した。東海大学に地中レーダーがあるので、東側や南側の周溝の有無を確認することができるかもしれないので、実施を検討してほしい。

委員) 大神塚南側、駅周辺整備事業で発掘調査を実施したが、大神塚の調査との関連性は考えられるか。

事務局) 駅周辺整備事業に伴う発掘調査で主に確認されたのは、弥生時代中期の集落と、昔陪塚といていた周辺古墳群のうち2基が発見された。このうち周辺古墳群は大神塚と時期が違うので直接今回の調査に関わってくることは無いかと思う。しかし、大神塚の調査をしていると、弥生時代の土器が多く確認され、今回の調査でも弥生時代の住居を貫いて古墳を作っており、他の部分からも大神塚の下から弥生時代の住居が確認されているので、おそらく駅周辺整備事業に伴う調査で確認された弥生時代の集落が北側までのびているかと思う。

委員) 来年度で墳丘調査は終了ということですね。

事務局) その予定です。こちらから質問だが、墳形等どのように感じるか

委員) 長江桜山古墳1号墳は葉山・逗子に位置し、4世紀後半の古墳でヤマトタケル伝承とも関りがあると言われている。こちらの1号墳と墳形を重ねてみたところほぼ一致するというので、要点はくびれ部の

幅の比率で、仁徳天皇陵等 5 世紀のものは幅、比率が広がるので、今回の図面を見ると 4 世紀後半のころにおさまる。フルイ調査で確認された管玉も 4 世紀後半、後円部に石槨の断片も確認されているのでほぼ 4 世紀後半、長江桜山古墳と同じ時期であるので、ヤマトタケルの東征伝承と深い結びつきがあるのではと評価できると思われる。

#### 4. 協議事項

事務局より国登録有形文化財候補について、前回の会議で旧広田医院について協議した内容で令和 4 年 9 月に申請し、令和 5 年 3 月 17 日に国の文化審議会から登録への答申があったことを説明。登録が正式に決定となった後、同文化財の保存、普及啓発方法の検討や、他に埋もれている町内近代文化財の調査や保存、普及啓発方法等を調査検討していきたいこと、については令和 3 年度第 1 回文化財保護委員会にて今後町指定重要文化財候補として西寒川支線跡について審議対象とすると協議していただいたが、他の近代文化財と共に調査研究対象としたいことを説明。

委員) 旧広田医院については答申があったことは承知した、西寒川支線跡には線路が残っているのか、現状は公園か。

事務局) そうです。当初は町指定を考えていたが、ここで登録があったので指定だけでなく登録も範疇に入れ調査していきたい。

委員) 看板等がでているか

事務局) 文化財の説明板はないが、八角広場に相模海軍工廠とあわせ旧西寒川駅の碑がある

委員) 周辺を合わせて複合的話ができるものがあるとよいと思う。

委員) 歴史的環境を喚起できるものがあると良いが、それにはストーリーが必要かと思う。なぜここにあったとか。

委員) 昔は四之宮駅があったが、平塚市の飛地があった。それがいつごろ寒川になったのか、歴史的ことはわかるか。

事務局) その辺は文書館、町史で調べているだろう。

事務局) それについては平塚市と寒川町の売買契約で土地を買って編入しているはずで、資料は文書館にあるはず。

委員) 川があると流路の関係で川の向こうに寒川の土地がある。小出川のかっぱ徳利伝承のところにもある。これらの細かいところは皆さん知らないことが多い。かっぱ徳利伝承も茅ヶ崎の方が有名になってしまった。

事務局) 大曲橋は茅ヶ崎の人は間門橋と言っている。

	<p>委員) 昔は土地争いなどあった。四之宮は争いなく寒川になったが地名は残っている。今の公園は四之宮の場所なのか。</p> <p>事務局) 八角広場は西寒川駅があったところである。(四之宮飛地は一之宮7丁目あたりの一部)</p> <p>委員) 八角広場はなぜ八角という名前なのか、神社と関係はないが、関係あるのかと聞かれる</p> <p>事務局) 当時の公園を作成者がイメージしたかもしれないが、八角の噴水の形から八角広場という名前になったと思われる。</p> <p>事務局) 改めて、事務局案を了承ということでよいか</p> <p>一同) 良い</p> <p>5. その他 特に無し</p> <p>以降議事進行は事務局</p> <p>6. 閉会 藤井副会長</p>
<p>資 料</p>	<p>※ 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度文化財保護事業報告</li> <li>2 令和5年度文化財保護事業計画</li> <li>3 令和4年度大(応)神塚古墳の保存目的のための調査概要</li> <li>4 国登録有形文化財(建造物)に係る答申について(プレスリリース資料)</li> <li>5 今後の近代文化財について</li> </ol>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>会長 北條 芳隆 (令和5年5月19日確定)</p>